

# AUSTRALIA

Worldtrip

with surf magazines



PACIFIC LONGBOARDER

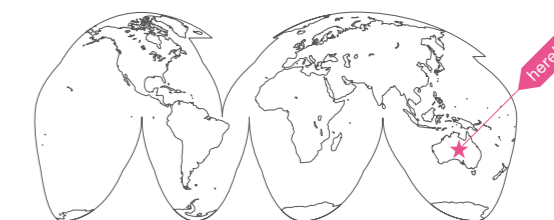
世界にも数少ない、ロングボードを専門に扱うサーフィン誌の一つ。オーストラリアを中心に、アメリカ、ヨーロッパ、アジアと世界中のロングボード・シーンとサーファー達のライフスタイルを美しい写真で紹介している

DER

## オーストラリア・パシフィック・ハイウェイの旅

シドニーとブリスベンの間、1,050kmの道のりを結ぶハイウェイ1。  
若いロングボーダー達が、未知の波を求めてこの道を通る1週間の旅に出た。  
その旅の写真を、旅を楽しむためのルールとともに紹介しよう。

文、写真=ムーンウォーカー (PACIFIC LONGBOARDER)  
Text & Photos: Moonwalker



### ROAD TRIP RULE 1

まずは、荷物を最小限にまとめようなんて考えないこと。  
クルマに詰めるだけ、いくらでも荷物を詰め込んでしまおう。  
クルマには、オーバー・チャージなんてないんだから。  
釣り道具だってきっと必要になるだろうし、  
スキム・ボードやカイトも持って行くといい。  
ガレージの隅で眠っている古いボードにも、  
久々の出番が与えられるに違いない。  
だけど、地図は積む必要はない。  
あれは、ただの時間の無駄を生むものだ。  
後部座席のティッシュの下にでも置いておけばいい。  
地図に捕らわれることなく、妖しい道にクルマを進ませて行けば、  
きっとそこには誰もいない波があるに違いない。  
いつだって、新しいサーフ・スポットは、  
当てずっぽうのでたらめな運転と  
運にすべてを任せた時に見つかるものだから。

1: '60年代から、どれだけの人がこの道を通ったのだろうか  
2: オーストラリアならではの「カンガルーに注意」の標識 3: 大自然の残るオーストラリアの東海岸では、kmサーフィン中にイルカに出会うことも珍しくない





# Worldtrip

with surf magazines  
AUSTRALIA IA

## ROAD TRIP RULE 2

もし、一緒に旅するメンバーの中に  
今回の旅先に行ったことがあるやつがいるのならば、  
そいつは連れて行かない方がいい。  
「前に俺がこのポイントに来た時にはさ、  
波はもっときれいで、でかくて、もっとまじだっただけだな。  
あ、それともう一つ言い忘れてたけど、  
その時はビキニのスウェーデン人のグループがビーチにいてさ、  
あの時は最高だったのにな、今日はどうもダメだな」  
こんなことを言うようなやつがいたとしたら、  
楽しい旅も一気に台無しになってしまう。  
そいつのボードにはワックスの代わりに  
石鹸でも塗ってやるのがいい。  
フィンを隠して困らせるのもおすすめだし、  
何か欲しくなった時にグロッサリー・ストアに走らせるのもいい。  
まあ、最初から連れて行かないのが無難ではあるが。

1: チューブに突っ込む2006  
年の世界チャンピオン、ジョ  
シュ・コンスタブル 2: ク  
ルマの旅で重要なことは、と  
にかくクルマをどこかへ走ら  
せること。そのうちに何か見  
つかる。そんな心構えも重要  
だ





1: 今、オーストラリアで最も注目される若手の一人、ハーレー・イングレビー。短いボードも乗りこなす彼は、アグレッシブなライディングが得意だ 2: カリフォルニアの実力派、ジャスティン・ハグロンもトリップに参加し、切れのあるカット・バックを見せてくれた 3: 普段とは違う道をあえて選んで走れば、こんな素晴らしい景色に出会うこともできる



## Worldtrip

with surf magazines  
AUSTRALIA IA

### ROAD TRIP RULE 3

旅は普段の厄介な仕事や人間関係からあなたを解放してくれる。  
旅の間は普段できないことを思い切り楽しもう。  
例えば、カンガルーに出会ったら、一緒に跳ね回ったり話しかけたりしてみるのもいい。  
もちろん、回りに誰もいないことを確認してからだが…。  
まあ、誰かに見られても気にすることはない。旅の恥はかき捨てだ。  
ハイウェイ沿いにはたくさんの有名なサーフ・ポイントがあるけれど、  
人でいっぱい有名なポイントに寄ってもしょうがない。  
とりあえず、前を行くトラックの後ろにびったり張り付いてみよう。  
見知らぬトラックに行く先を任せるのも面白いじゃないか。  
万が一、クルマがスタックしても、トラックなら楽々と引っ張り出してくれるはずだしね。  
そして、ドライブ・インを見つけたら、迷うことなく立ち寄るべし。  
十分にお腹を満たしたら、トイレ休憩をしっかり取ることも忘れずに。  
それと、オーストラリアに来たら、ミート・パイは絶対に食べるべき一品！  
オーストラリアのペイカリーは安いし、うまいし、旅の重要な味方なのだ。





# Worldtrip

with surf magazines  
AUSTRALIAIA

## ROAD TRIP RULE 4

誰を旅に連れて行くかをよく考えよう。  
 気の合う仲間と行く旅ほど楽しいものはないだろう？  
 やはり、一緒に旅する仲間が最も重要な要素なんだ。  
 旅が楽しくなるかどうかはマイト（仲間）次第。  
 まず、めそめそ愚痴を言うようなやつは真っ先に外すこと。  
 だけど、そいつも貴重なドライバーとして有効活用できるかもね。  
 トランクに入れてでも、料理が上手いやつは連れて行くべきだろう。  
 とにかく、いろいろなタイプの友達を連れて行った方がいい。  
 出発前に、まだクルマに空席があるなら  
 すぐに電話をかけて誰かを捕まえよう。  
 一人でも多い方が旅先のパーティは楽しくなる。  
 男友達に可愛い女の子、大波好き、近所のおじさんサーファー、  
 組み合わせ次第で旅のバリエーションはいくらでも広がる。  
 彼らがきつと旅を面白くしてくれるはずだ。

とにかくたくさん旅に出ること。  
 どの旅が人生最高の旅になるかもしれないなんて、  
 誰にも予測がつかないのだから。



1: 誰もいない極上の波を、仲間だけで分け合う至福の瞬間。これぞ旅の醍醐味だろう 2: こんな極上の無人ラインナップを見つけたのも夢ではない 3: 疲れたら寝る。腹が減ったら食べる。起きたらサーフィンする。ただ、したいことをすればいい 4: オーストラリアのジュニア・チャンピオン、ハリー・ローチの鋭いリップリング・アクション

